

特定非営利活動法人 発行所
北関東産官学研究会
群馬県桐生市緯姫町2-5
桐生地域地場産業振興センター4階
郵便番号376-0024 電話027-46-1060

Hi Ka Lo News

Highland Kanto Liaison Organization

URL <http://www.hikaku.jp/>

2017年(平成29年)12月1日

第57号(年3回発行)

次世代産業へ マッチング活況

独自のものづくり技術や、手仕事による手作りの工芸品を持った川上企業（中小企業・小規模事業者）と市場ニーズに合った完成品をつくり販路に乗せる川下企業（大企業や、次下請け）とを結ぶ川上・川下マッチング事業が活発だ。本研究会や群馬県などに加え、東和銀行や群馬県銀行といった各金融機関も取り組みに力を入れている。交流を活性化しマッチングを生み出す。そのためにはコーディネーターの役割が欠かせない。川下側のニーズを事前につかみ、生かせそうな技術を持つ川上企業を見つけ、マッチングを試みる。それまで縁の薄かった企業どうしを引き合わせる、いわば「橋渡し役」が重要なのだ。

「橋渡し役」のコーディネーターに求められる広い視野と支援の知識



ミツバで開催された川上川マッチング事業の様子

昆虫や蚕などの小さな生物の機能性をものづくりに生かすことで、新たな経済モデルが生まれる可能性を示した。

小さな生物が持つ構造や能力をものづくりに取り入れ、社会に落とし込む技術のこと。を、長島氏はインセクト（昆虫）テクノロジーと呼ぶ。

タマゴの着色は色素ではなく表面の層構造に由来する。これをまわすすれば塗料を使わない着色が再現できるはず。新潟県燕三条の町工場に

農大の長島教授が提案——
物は超ハイテク工場」と、長
島氏は唱える。
シルクの主要成分であるフ
ィブロインなんばく質には
「アレルギーフリー」「高吸脂
性」「カビが生えにくい」「U
Vカット」「無味無臭」といっ
た機能がある。これを生かし
講演する東京農大の長島教
授（桐生ブリオパレスで）

ものづくりは生物に学べ —持続可能な社会へ 東京農大の長島教授が提案—

環境負荷を減らした
新たな経済モデルを

レス製スプーンをつく
「表面」デノ（10億分の
レベルの層をつくる技
術）の層がある。塗料
現場にはある。なので再利用も容易
0色の発色が可能だ。
蓮の葉の構造を応用
撥水性の高い繊維がで
カタツムリの殻の構
は、雨によって表面の

「トーボの羽の表面はボコしているため揚力が少ないので飛ぶのが、少し羽ばたきで飛ぶ。風車の羽に応用できる。風車の羽でも発電ができるではない。さっそくものを用意すれば、実験で確認できる。シルクも重要な素材だが、さばらしい素材だが、この技術では再現できない汚れを止めよう。」

ボコが生まれた。「桐生市の人アーモントもそうだが、フットワークのよい中小企業が、おもと翔んで生き残るのにつくい製品を生み出す」無菌養蚕による繭生産や保護と養蚕を組み合わせた事業を通じ、日本型養蚕モデルを開発を目指す。根底には今までの日本の衣食住に対する危機意識がある。衣の自給率は

惜しい想像をしてしまう
残念である▼明るい太陽
が昇るのに目を向けない
わけではない。早起きの
習慣から晴れた日はほん
とんど毎日見ている。薄
明かりの状態から日光が
さつと差し込むと、明る
さとともにぬくもり感じ
る。残り少なくなったタイ
チヨウの葉がさざめくら

富士重が求めめる
技術を探し出せ
望月氏と竹本氏
ただいま奮闘中

コーディネーターとして活動を始めた。

A black and white portrait of Toshiaki Kondo, a middle-aged man with glasses, wearing a light-colored suit jacket, a dark shirt, and a patterned tie. He is looking slightly to his left. The background is a plain, light-colored wall.

自動運転技術のコードを務める竹本さん(右)と
これまでと違った視点で、これまで「アマツチ」になら
れていた企業どうしの競争が、「アマツチ」になら
ない。2人で回れば、も複眼になる。
これまで異業種との連携が進む。これで、世代交替でつながる
重要な目だ。

がせ

待を寄せせる事業所も少な
くない。
これまで異分野だった企業
ために縁のなかつた企業
どうしが、技術を通して
協力し、新たな事業を自
指す。「コードイニスター」
の能力が試される場だ。

企業を探し、マッチングする方が役割だ。持つ企業がこれまでのかど、改めて壁を打ち壊すことを目指す。「富士重工業側の技術を理解し、技術を掌握し、技術を活用する」ことを目標に、企業訪問は自らつるこの連続。「優れた技術を

一 ター
さん

の運転車
ニーズ
を持って
ある。馬鹿い
る。はある。
いそくな企業を訪ね
これはと思えばマッ
グを図る。これまで
に当たり半数が面談
施。6社が富士重工
社員を派遣。1社は
委託にまでこぎつけ
求めた技術が近く
るのに互いに存在
づいていない。理

る。35社に実業を事業に業務に在るにあたった。もれに気を感する。民家の明か子感させる。不測の事態を現れる景色は、いつに横たわつて光が遮り横たわつている。ただ、なまびく雲に染まつて茜色に染まつていた。山系に夕日が沈み込んで、あたり一帯の空はいい。黒々とした冬の落葉は早

